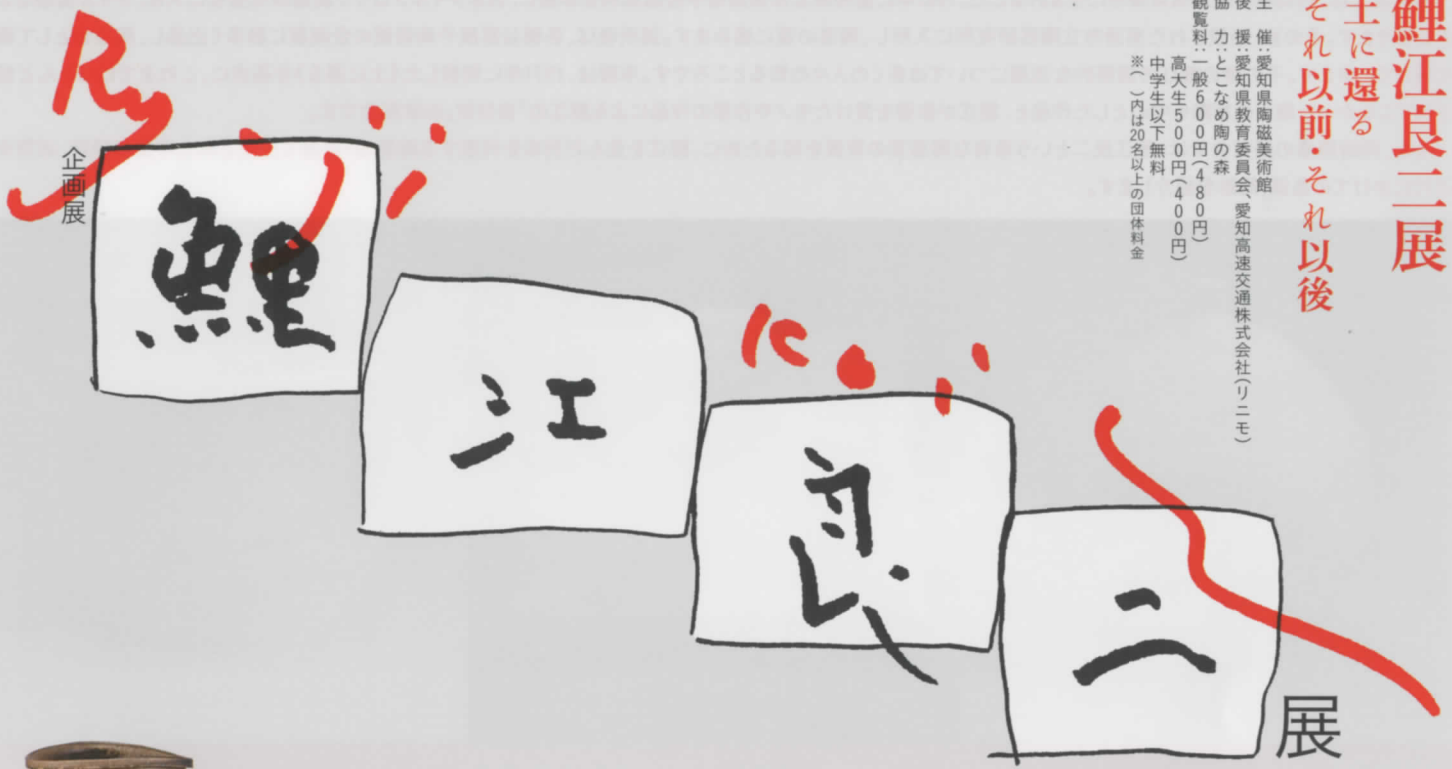


鯉江良二展

土に還る
それ以前・それ以後

主催：愛知県陶磁美術館
後援：愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社(リニモ)
協力：とこなめ陶の森

観覧料：一般600円(480円)
高大生500円(400円)
中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金



企画展



2015.6.6^{sat} - 8.2^{sun}

愛知県陶磁美術館

本館第1・第2・特別展示室、他

■開館時間：午前9時30分から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)

※ただし、7月1日(水)から8月2日(日)は午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

※6月6日(土)は開会式のため、観覧は午前11時より

■休館日：毎週月曜日(ただし7月20日(月・祝)は開館、7月21日(火)は休館)

常滑

—古常滑・急須・陶彫—
TOKONAME - Old Tokoname, Teapots and Ceramic Sculpture -

同時開催

The Works of KOIE Ryoji - Before and After the Work 'Return to Earth' -



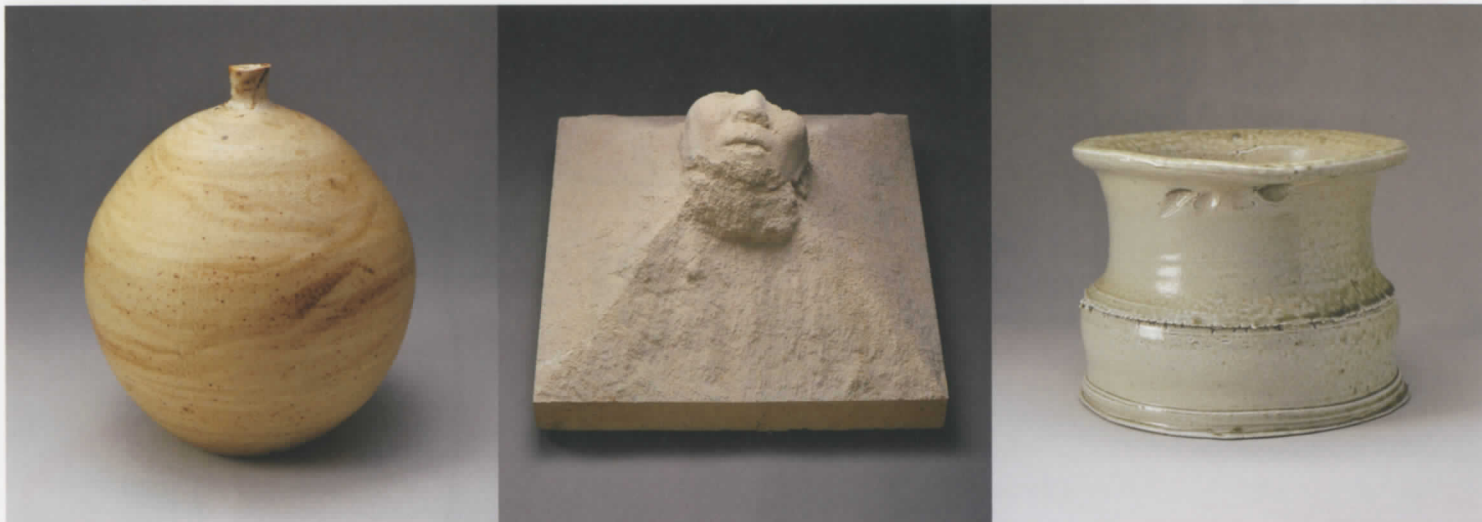
愛知県陶磁美術館
セラミアム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234 TEL:0561-84-7474 FAX:0561-84-4932 <http://www.pref.aichi.jp/touji>

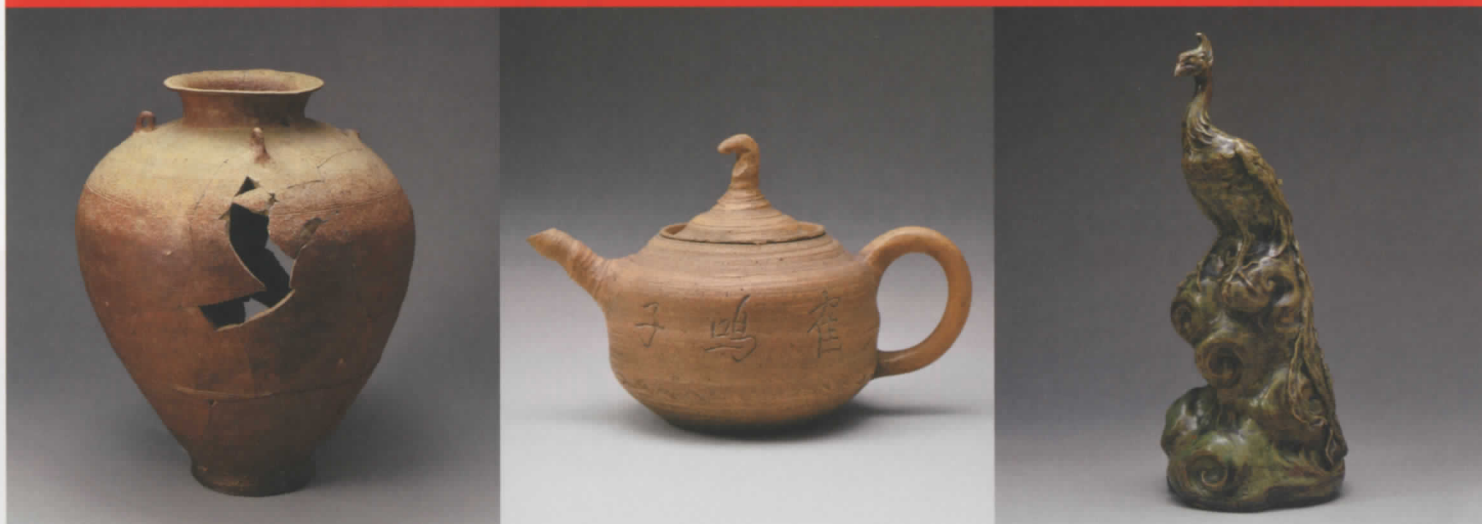
上：大甕 常滑 鎌倉時代(12世紀) とこなめ陶の森蔵 / 下：工房(1970年代中頃) 撮影：藤井友樹

鯉江良二は、1938年に愛知県常滑市に生まれました。1957年に愛知県立常滑高等学校窯業科を卒業し、日本タイルブロック製造株式会社に入社、タイル製造などにかかわります。その後、新設された常滑市立陶芸研究所に入所し、陶芸の道に進みます。退所後は、各種公募展や美術館の企画展に数多く出品し、陶芸家として頭角を現していきます。その後の鯉江の国際的な活躍については多くの人々の知るどころです。本展は、1971年に発表した《土に還る》を基点に、これまでにほとんど紹介されてこなかった鯉江の初期を中心とした作品と、鯉江が影響を受けたモノや作家の作品による鯉江の「自分史」の展覧会です。

また、同時開催の展覧会では、鯉江良二という希有な陶芸家の背景を知るために、鯉江を生んだ日本を代表する陶産地・常滑で生産された中世常滑焼、近世から近代にかけての急須、陶彫を紹介します。



企画展「鯉江良二展 -土に還る それ以前・それ以後-」 同時開催「常滑 -古常滑・急須・陶彫-



左上から時計回りに ■丸壺 鯉江良二/1960年代前期/個人蔵 ■土に還る/鯉江良二/1971/常滑市蔵 ■風下の器/鯉江良二/1975/個人蔵 ■瑞鳥/平野霞装/1928/個人蔵 ■銘雀鳴子急須/初代杉江寿門/明治時代前半/とこなめ陶の森蔵 ■四耳三筋文広口壺/常滑/12世紀/個人蔵

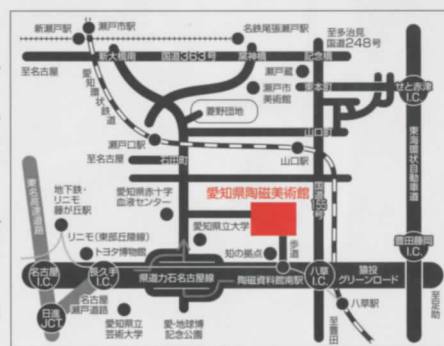
※割引制度 リニモ「藤が丘」「愛・地球博記念公園」「陶磁資料館南」「八草」各駅に設置の割引チラシ(リニモ利用者に限る)/リニモ「一日乗車券」/名古屋交通局「一日乗車券」および「ドニエコきっぷ」/モリコロパーク駐車場再入場券/名都美術館有料観覧券の半券(2カ月以内)を持参の方は観覧料が2割引となります。※チラシ等の割引引換券またはJAF会員証持参の方は観覧料が100円引となります。※身体等に障がいのある方および付添者は手帳を受付にてご提示いただくと割引制度が適用されます。(割引要件あり。詳細は公式WEBサイトでご確認ください。) ※各割引制度の併用はできません。

関連イベント

- 座談会1「鯉江良二史を語る」
鯉江良二氏(陶芸家)×加藤清之氏(陶芸家)×森真吾氏(画家)
×榎本徹氏(岐阜県現代陶芸美術館長) 司会:大長智広(当館学芸員)
日時:6月28日(日) 午後1時30分から3時30分
会場:本館 地下講堂 ※参加無料、事前申込不要
- 座談会2「鯉江良二と語る」
日時:7月19日(日) 午後1時30分から3時
会場:本館 展示説明室 ※参加無料、事前申込不要 一般の参加者と鯉江氏との気軽な座談会です
- 講演会「常滑の窯業と急須」
講師:小栗康寛氏(とこなめ陶の森 資料館)
日時:7月12日(日) 午後1時30分から3時
会場:本館 地下講堂 ※参加無料、事前申込不要
- 学芸員による展示解説
日時:6月20日(土)、7月4日(土)、7月18日(土)、8月1日(土)
午後1時30分から1時間程度 ※参加無料、ただし観覧券が必要。事前申込不要
※関連行事の詳細は当館公式WEBサイトをご覧ください。

交通

- 公共交通機関
地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m/名鉄瀬戸線終点「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野田地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・休日のみ)/愛知環状鉄道「八草」駅下車、リニモ「八草」から「藤が丘」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m
- 自家用車(駐車場無料・250台収容)
東名高速道路「日進」JCT、經由、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から瀬戸方面に約5km/東名高速道路・名二環道「名古屋IC」から瀬戸・豊田・足助方面に約10km/東海環状自動車道「せと赤津IC」から長久手方面に約7km
- タクシー
地下鉄東山線・リニモ「藤が丘」駅から約20分/名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約15分



愛知県陶磁美術館
セラミアム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL: 0561-84-7474 FAX: 0561-84-4932
http://www.pref.aichi.jp/touji

【次回展覧会】 特別企画展 ギリシア陶器:「古典」の誕生 8月8日(土)~10月12日(月・祝)

瀬戸市内の展覧会のお知らせ	瀬戸市美術館 TEL:0561-84-1093 生誕120周年記念 瀬戸市美術館特別展「北川民次展」 7月4日(土)~9月27日(日)	瀬戸蔵ミュージアム TEL:0561-97-1190 「新出土品展 桑下城跡と周辺遺跡」(仮称) 7月4日(土)~9月13日(日)	瀬戸市新世紀工芸館 TEL:0561-97-1001 「近藤葉子 水谷一子展」 6月27日(土)~9月20日(日)	瀬戸染付工芸館 TEL:0561-89-6001 「収集家の秘藏品一瀬戸染付を中心に」 7月1日(水)~9月28日(月)
---------------	---	---	---	--

割引引換券 100円割引 一般 600円→500円 高校・大学生 500円→400円
※中学生以下無料※本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他割引との併用はできません。